

# 東アジアセンターシンポジウム 「東アジアのなかの日本学」

本シンポジウムは、これまで往々にして国内で完結し、ナショナルな色彩を帯びがちであった「日本学」という領域を、積極的に東アジアに開いていくことを企図する。東アジアの各地から日本研究に従事する研究者を招へいし、各地の視点から報告・討論を行うことで、これまで自画像として構築されてきた「日本」像を東アジアの視点からあらためてとらえ直したい。こうした試みは、相互理解を深めうるのみならず、相互の対話を通じて、より普遍的な学知の獲得へもつながりうるだろう。

**参加無料**  
申し込み不要

**日時** 2014年2月27日[木] 10:00~17:30

**場所** 岡山大学文学部・法学部・経済学部講義棟1階10番講義室  
[日本語での研究発表になります。]

## プログラム

●10:00-10:10▶開会挨拶

### 《午前の部》

●10:10-10:50

報告者:楊 円(中国・東北師範大学)  
テーマ:満州国首都「新京」の日本人社会の形成と  
その特徴に関する考察

10:50-11:00▶質疑応答

●11:10-11:50

報告者:徐 氷(中国・東北師範大学)  
テーマ:中日近代教科書衝突のパターン化研究

11:50-12:00▶質疑応答

●12:00-13:30▶昼食・休憩

### 《午後の部》

●13:30-14:10

報告者:レ・ティ・トゥ・ハー(ベトナム・フエ大学)  
テーマ:ベトナムから見た日本

14:10-14:20▶質疑応答

●14:30-15:10

報告者:崔 喜植(韓国・国民大学)  
テーマ:東アジアでの海洋領土紛争—独島と尖閣諸島—

15:10-15:20▶質疑応答

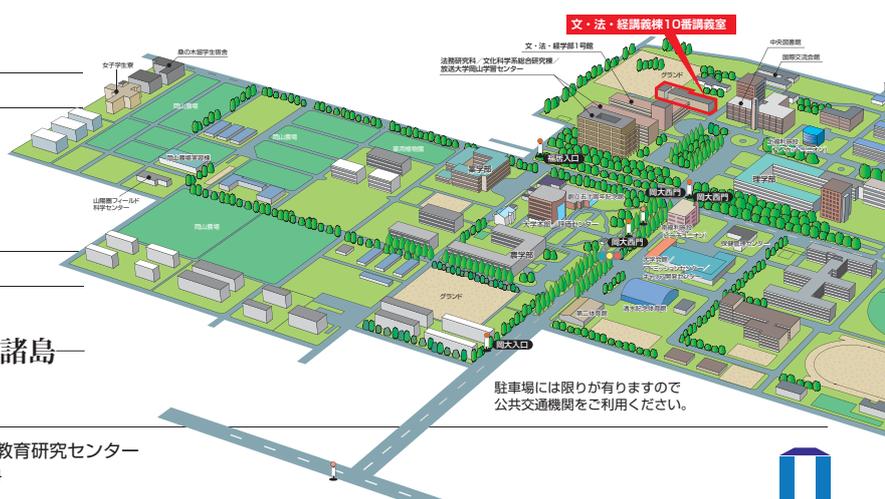
●15:30-16:10

報告者:頼 振南(台湾・天主教輔仁大学)  
テーマ:『竹取物語』と『宇津保物語』におけるアジア叙述  
16:10-16:20▶質疑応答

●16:30-17:10

報告者:辻 星児(岡山大学)  
テーマ:朝鮮王朝時代における日本語の研究と教育  
17:10-17:20▶質疑応答

●17:20-17:30▶閉会挨拶



駐車場には限りがありますので  
公共交通機関をご利用ください。

●問い合わせ先: 岡山大学大学院社会文化科学研究科 東アジア国際協力・教育研究センター  
〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中3丁目1番1号  
岡山大学津島キャンパス 文法経1号館359  
TEL/FAX: 086-251-8446 E-mail: hss-egec@cc.okayama-u.ac.jp